

会 議 録

平成 25 年 3 月 8 日 調製

審議会等名	平成 24 年度 第 3 回図書館協議会
公開の別	全部公開
開催日時	平成 25 年 2 月 21 日 (木) 午後 2 時 ~ 4 時
開催場所	三条市立図書館 2 階 視聴覚室
傍聴者の有無	無
出席者氏名	<p>【協議会委員】</p> <p>宮島泉委員長 捧礼子副委員長 平井幸子委員 渡邊英美委員 本井晴信委員 米山文子委員 田村光子委員 小出和子委員</p> <p>【説明のための職員】</p> <p>金子生涯学習課長 石崎生涯学習課長補佐 長谷川文化振興係長</p> <p>【指定管理者】</p> <p>太向館長 菊崎業務責任者 佐藤副責任者 瀧澤副責任者 竹内副責任者 村山副責任者 高須 (館長引継ぎ予定者)</p>
協議題	<p>(1) 平成 24 年度 1 月期までの図書館利用状況について</p> <p>(2) 指定管理者の更新について</p> <p>(3) その他</p>
生涯学習課長	あいさつ
宮島委員長	協議題(1)「平成 24 年度 1 月期までの図書館利用状況について」の説明を求めたい。
図書館長	(資料 .1 ~ 4 に基づき説明)
本井委員	実施事業のうち、他機関との連携において「職業実習 (月ヶ岡特別支援学校職業学級 2 年生)」が報告されている。障がい者向けの職場実習はもとより、雇用について受入先を広く求めることは難しいのではないかと懸念がある。図書館での対応が期待されると考えている。
図書館長	既に、精神障がいのある方 2 名の就労を受け入れていた。うち 1 名はご事情から退職したが、もう 1 名の方は勤務している。今後ご本人と図書館と双方の求めるところが一致すれば、積極的に受け入れに取り組んでいきたい。
本井委員	ただ今の説明では精神または知的障がいのある方を受け入れたとのことだが、身体障がいのある方についてはどうか。
図書館長	三条市立図書館での実績はないが、図書館流通センターで管理運営を委託されている他地域の図書館での実績はある。車椅子を利用している方も就労している。
平井委員	実施事業のうち昨年 10 月の『「さんじょう親子読書の日」イベント』について、参加者が 1 名しかいなかったようだが、どのような企画内容だったのか説明を求めたい。
瀧澤副責任者	来館した方に向けた大型絵本の展示と読書相談を企画のうえ実施した。
図書館長	10 月 23 日の「さんじょう親子読書の日」に合わせて準備のうえ当日実施した。ところが、その日が平日であったため、入館者自体が少なかつたこともあり報告にある参加者数となってしまった。

捧副委員長	今年から、ボランティア団体の「幹の会」が『「さんじょう親子読書の日」イベント』に協力している。会のメンバーが図書館のスタッフと揃いのエプロンを着て、利用者の様子をみながらご案内に当たった。また、おはなし会も行った。
田村委員	児童サービスのうち「おはなしの出前」について確認したい。具体的に、千代ヶ丘保育所だと159人という大勢の保育児が対象となる。どのように実施しているか聞かせてほしい。
瀧澤副責任者	1～2歳の未満児クラスと、3～5歳の年長クラスとで会場と時間を分けて実施した。スタッフ2名で各クラスでの実施に当たっている。
宮島委員長	「おはなしの出前」に行く保育所は毎年増えているのか。
図書館スタッフ	今年度に入ってから2ヶ所増えている。
宮島委員長	これまで「おはなしの出前」の要請があれば全て応えて来たようだが、図書館スタッフの人数にも限りがある。今後依頼が増えた場合、どのように対処して行くつもりか。
図書館長	これまで以上にボランティアの方々の御助力を賜りたいと考えている。
米山委員	入館者数をはじめとする利用状況について、単なる数値実績だけを目標として評価を求める姿勢はいかかなものか。利用者数の母数となる人口が減少傾向にあるなか、利用者も比例して減ることはある程度否めないのではないか。そのような状況の中で利用者増ばかり狙うのではなく、どのような図書館を作っていくかを示して、それに向けた施策と成果を目標とするように改めるなど、数値以外の評価の指標を求めることも考えてみてはどうか。
図書館長	数字を求めることだけに留まらず、図書館が提供するサービスの内容充実にも努めている。ただし、指定管理者という立場から、請け負わせていただいた業務の結果を数字でお示めしすることも必要だと考えている。
米山委員	現状では数字で成果を示さざるを得ないことは理解できる。ただし、資料7・8ページにある本館事業を見ると子ども向けの企画ばかりが目につく。エコバック作りやエンディングノートの講習会には一般成人の参加が多かったと聞いた。対象世代を広げた企画に更に取り組むことも考えるべきではないか。
図書館長	対象世代を広げた企画に来年度以降も取り組んで行きたい。
宮島委員長	そのようなイベント毎に、参加人数といった数値的な結果確認だけでなく、内容がどのように評価されたかなど質的評価の確認と記録を残して、次の企画に生かすように努めているのか。
図書館長	イベント毎に担当者が反省点などを記入した報告書を作成している。それをスタッフ全員が確認して次回以降の企画に活用するようにしている。
本井委員	書籍など紙をベースとした媒体での資料提供以外に、三條市立図書館ではデジタル関連情報も提供している。今後、デジタル関連の資料数も増えて行くことが予想される。従来の紙媒体の資料と新たなデジタル関連資料とのバランスをどのように考えているのか。デジタル関連資料は高齢者には馴染まないことが懸念される。
図書館長	デジタル関連資料の充実を図った方が、より利用者のニーズに応えることになるという判断になれば所蔵数を増やすことも考えたい。

田村委員	「おはなしの出前」について確認したい。「おはなし」と「ブックトーク」はどのような違いがあるのか。
村山副責任者	「おはなし」は、本の読み聞かせを中心に実施。「ブックトーク」はテーマに沿って用意した5～6冊の本を紹介することが中心となる。ただし、「ブックトーク」でも少し語りを入れたり、読み聞かせをしたりすることもある。訪問先のご意向に合わせて適宜対応している。
本井委員	ロシアに落下した隕石とかテレビで紹介されたダイオウイカなど、その時点で関心が高まっているテーマに応じた「ブックトーク」も行っているのか。
村山副責任者	そのようなテーマに関連する本が実施時点で用意できれば、織り交ぜて紹介するようにしている。ただし、多くの場合、先生にリクエストされた授業に関連するテーマで実施している。
米山委員	資料10～12ページの児童サービスに記載されている「おはなしの出前」の訪問先を見ると、市内に24校ある小学校の全てを訪問しているわけではない。基本は先生からの要請がなければ訪問しないということか。
村山副責任者	原則は先生の要請に応じて訪問することになっている。
渡邊委員	図書館のサービスは文系のイメージに偏りがちのように思える。文系以外の教科の先生向けに理科パックや算数パックなどを用意して提案することで、「おはなしの出前」への要請を増やすことが出来るのではないか。
図書館長	毎年4月に、図書館による学校向けのサービスについて全校に案内している。本日はいただいたご提案を参考に、より詳しい実施内容を伝えるなどして利用促進を図ることも検討したい。
平井委員	学校が通常の授業時間を使って「おはなしの出前」を利用する多くの機会を設けることは難しい。読書週間などで特別な行事として利用している。「ブックトーク」はいろいろなジャンルの本を知ることによって読書の幅を広げる機会となり評価している。さらに、リテラチャー・サークル、ブッククラブ、パネルシアターなどの読書活動も紹介してもらいたい。
小出委員	土日にも「おはなしの出前」を実施しているようだが、PTA行事などに呼ばれてのことと思われる。そのような行事であれば、図書館から出向くだけでなく図書館で開催するように働きかけても良いのではないか。入館者数が減少しているとの報告があったが、このようにして来館機会を増やして蔵書も見てもらおうことが、利用促進の方策にもなるのではないか。
図書館長	そういうことにも取り組んでみたいと思う。ご提言ありがとうございます。
宮島委員長	協議題(2)「指定管理者の更新について」の説明を求めたい。
図書館長	(資料.5に基づき説明)
本井委員	今後5年間に予定されている事業の中に栄分館で所蔵している個人文庫の資料整備が挙げられている。ところが、スタッフは、昔の軸、屏風、額など古文書も含めて扱い方に不案内なところがあると思われる。そのような状況では貴重な資料の活用も望めない。スタッフへの研修や一般の方も交えた講習などを実施して技能の共有化を図ることが求められる。交代する予定の館長の課題として積極的に取り組んでもらいたい。県立図書館に申し出れば指導が得られる。

図書館長	新潟県歴史資料保存活用協議会が開催する研修にスタッフを参加させているが、熟練にまで至っていないのが実情である。是非ご指導いただければと思う。
宮島委員長	この5年間でカウンター前がすごく変わった。お勧め本などが興味を引くレイアウトで並べられていて、つい手にとってしまう。利用促進への積極的な姿勢が見られる。これからの5年間にも期待して見守って行きたい。
宮島委員長	この機会に何か確認しておきたいことがあればご発言ください。
捧副委員長	図書館本館の2階に授乳室がある。設備は良いのだが奥まった場所にある。そのため、あまり利用されていないように見受けられ残念に思っている。場所を移すなどの改善策は難しいのだろうか。
図書館長	スタッフには若い母親もいるので、意見など求めながら利用率の向上が図れる方法を検討したい。
金子課長	子育て支援という観点から設置している。既存の施設内に設置場所を求めるのは難しい状況の中で図書館にも設置した。設備があることの周知や利用を誘導するための工夫が求められると考えている。
本井委員	新潟日報社メディアシップの5階に、人物中心の情報拠点を置くことになっている。会津八一記念館も入って来る。人物というキーワードを共有しながら相互に情報交換ができる状況になって行くはずである。図書館からも情報提供する意識を持って備えることを勧める。
図書館長	準備段階で歴史民俗産業資料館に照会があり、三条市から諸橋轍次博士と岩田正巳画伯が取り上げられると聞いている。
本井委員	図書館の予定事業の中にパス・ファインダーの作成及び提供が挙げられている。県立図書館が提供しているパス・ファインダーを見たが、字ばかりで分かりづらい。図を活用した分かりやすいものを作成して提供することを望みたい。
図書館長	一生懸命勉強して、良いものを提供したい。
宮島委員長	協議題(3)「その他」について説明を求めたい。
長谷川係長	(2月23・24日に開催される『中央公民館「まちなか文化祭」』の案内を行う)
田村委員	「まちなか文化祭」は例年開催しているのか。
図書館長	本年度が初めての開催である。
宮島委員長	子どもの読書活動推進事業に対する評価を本年度中に行わなくてよいのか。
金子課長	本年度1年間の活動が完了した後に評価を求めたい。については、来年度の第1回目の協議会で評価していただくことを予定している。
宮島委員長	これで終了。
図書館長	委員の皆様、2年間ご協力いただき、ありがとうございました。